

# 餅つき

平成28年12月21日（水）

澄み渡った冬空のもと、園庭にて餅つきが行われました。

当日はお母様方だけではなく、お父様やお祖母様も加わり、段取り良く準備が進みます。



ほかほかのもち米が蒸しあがりました。



力仕事は男性陣が、臼の周りを回りながらもち米の粒をしっかりとつぶします。



（年長さん）杵を振り上げることから一人で「ヨイショ、ヨイショ！」の掛け声とともに力強く



（年中さん）先生に支えてもらいながらも、順番に一人ずつ元気にお餅をつきます



(年少さん) 今回は応援団です。掛け声に合わせて腕を振り上げる仕草が可愛らしいです。来年は上手にお餅をつけそうです。



いよいよ完成に近づいてきました。最後の仕上げは男性陣の力で。

お餅の「返し手」のお手伝いをして下さった方にお伺いしたところ、杵はカー杯臼に打ちつけるのではなく、杵の重さにまかせて落とすようにすると良いそうです。最後の仕上げのつき方はとても上手だったそうです。



つき上がったお餅は丸めて鏡餅に。お正月の間、幼稚園の玄関に飾られます。お餅が丸くなる様子を見学します。



最後に教室であんこのお餅のおやつを皆でおいしく頂きました。

古来、日本で行われてきたお餅つき。今回取材した私も目の前で見学したのは初めてでした。実際に道具に触れて体験することができ、園児たちにとっても大変貴重な体験になったと思います。取材のご協力有難うございました。